会報　烏合の衆　（第7号）

令和7年2月発刊
日本ヤタガラス協会

◎熊野三山に於ける八咫烏神事

熊野三山にはそれぞれ熊野権現の神使である八咫烏と宝珠をくみあわせて図案化された牛玉宝印の護符がある。熊野本宮大社と熊野速玉大社は「熊野山宝印」熊野那智大社は「那智滝宝印」の文字を用いている。

現在これに伴うお正月の行事として、熊野本宮大社では「八咫烏神事」として熊野那智大社では、「烏牛王神璽祭」と呼ばれる牛玉宝印奉製神事が行われている。紙面の関係で、ここでは和歌山県指定民俗文化財である熊野本宮大社の八咫烏神事について記載する。

毎年元旦零時に境外社の真名井社で若水を汲み、神前に供えたのち、この水を硯に注ぎ墨を摺り、版木で牛王札を摺始める。宝印は4日に神門に建てた門松（黒松）の幹で造り、これを印刷した牛玉札に押捺し、櫨または樫の木に挟んで調整する。1月7日午後5時からは、盥に水を張り拝殿の左に据え、修祓、祝詞奏上があって、牛玉札を松明の上にかざした後、宝印を拝殿向かって左の柱に気合を込めて3回押捺する。その後、宮司以下参列者に配布された半紙（横二つ折りをさらに内側へ三つ折りした無地の神符）に順次力強く宝印を押捺して神事を終了する。半紙に宝印をいただいく白玉牛玉はこの神事でのみ授与される。八咫烏神事は、熊野本宮大社黎明殿で夜催行される神事にも拘らず、全国各地から多くの参列者が集い厳かなうちに催行される。

（J・M記）

◎ヤタガラスの伝承の地

◎大阪杭全神社の熊野権現観請

大阪平野区の氏神として有名な杭全神社。第二殿は熊野三所権現。第三殿が建久元年（1190）勧請の証誠権現。第三殿の勧請経緯は、山伏が掛けた笈を開けると証誠権現の像（本地仏）が入っていた。

◎弓弦羽神社

神戸市にある弓弦羽神社は、創建故事により「厄除開運・家内安全・交通安全守護・諸願成就」のお宮として、また近年ではヤタノカラスのお導きによる御神徳である「勝利」を祈願する宮として、古くより今日に至るまで広く篤く崇敬を受けています。

弓弦羽神社本殿

杭全神社の熊野牛玉宝印

御影石のサッカーボール

弓弦羽神社のヤタガラスは弓矢から放たれた矢に乗って一直線に目標に向かう「導きのヤタガラス」となっています。

日本ヤタガラス協会からのお知らせ

上記の大阪杭全神社と神戸弓弦羽神社の視察を令和7年3月15日から16日にかけて予定をしております。参加をご希望の方は事務局まで申し出てください。（締め切り：令和7年3月7日（予算の都合上人数には限りがあります。））

申し込み先

那智勝浦町役場下里出張所内
日本ヤタガラス協会事務局
☎0735（58）0002
下記メールアドレスまで

申し込み先 mail：zainaka_1_19@yahoo.co.jp